

令和3年1月

新型コロナウイルス感染症に関する
緊急実態調査報告書

和気商工会

「新型コロナウイルス感染症に関する実態調査」
調査結果

実施機関:和気商工会

協力機関:和気町

実施日:令和3年1月実施

対象者:町内の商工会会員373社(回答数192社、回答率51.4%)

1.回答先企業の情報について

図1:業種

業種	回答数	構成比
建設業	30	15.6%
製造業	48	25.0%
卸売業	4	2.1%
小売業	26	13.6%
飲食店・宿泊業	17	8.9%
金融・保険業	1	0.5%
不動産業	5	2.6%
運輸業	6	3.1%
サービス業	49	25.5%
その他(※1)	6	3.1%
合計	192	100.0%

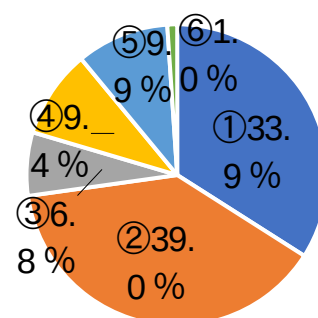
※1…その他は農業、養鶏業、電気供給業を含む

図2:従業員数

従業員数	回答数	構成比
0~4人	126	65.6%
5~20人	41	21.4%
21~50人	9	4.7%
51~100人	2	1.0%
101人以上	5	2.6%
未回答	9	4.7%
合計	192	100.0%

2.新型コロナウイルスの影響について(令和2年12月時点)

問1.企業活動に影響がありますか。(1つ選択)



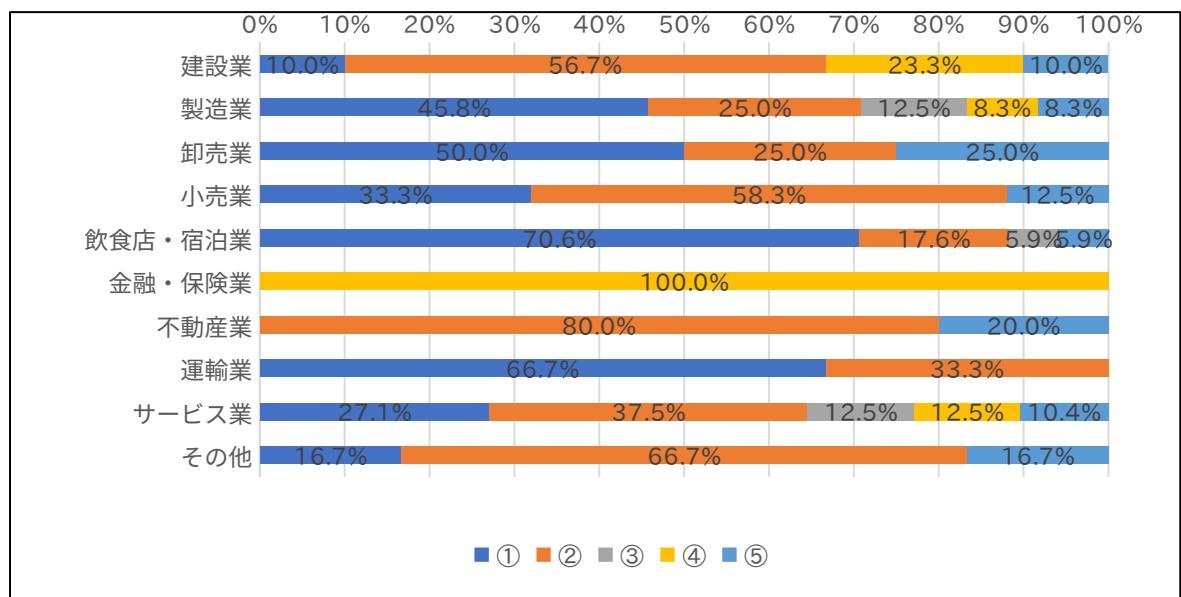
全体の79.5%が新型コロナウイルスにより
事業活動に影響を受けていると回答があった。

- ①非常に影響がある 33.9%
- ②多少影響がある 39.0%
- ③以前に影響を受けたが現在はない 6.8%
- ④現在はないが、今後影響を受ける可能性がある 9.4%
- ⑤特に影響はない 9.9%
- 未回答 1.0%

図3:問1 業種別比較(主要6業種)

回答	建設業 (N=30)	製造業 (N=48)	卸売業 (N=4)	小売業 (N=25)	飲食・宿泊業 (N=17)	サービス業 (N=48)
①	10.0%	45.9%	50.0%	33.3%	70.6%	27.1%
②	56.7%	25.0%	25.0%	58.3%	17.6%	37.5%
③	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	5.9%	12.5%
④	23.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
⑤	10.0%	8.3%	25.0%	12.5%	5.9%	10.4%

図4:問1 業種別比較(全業種)

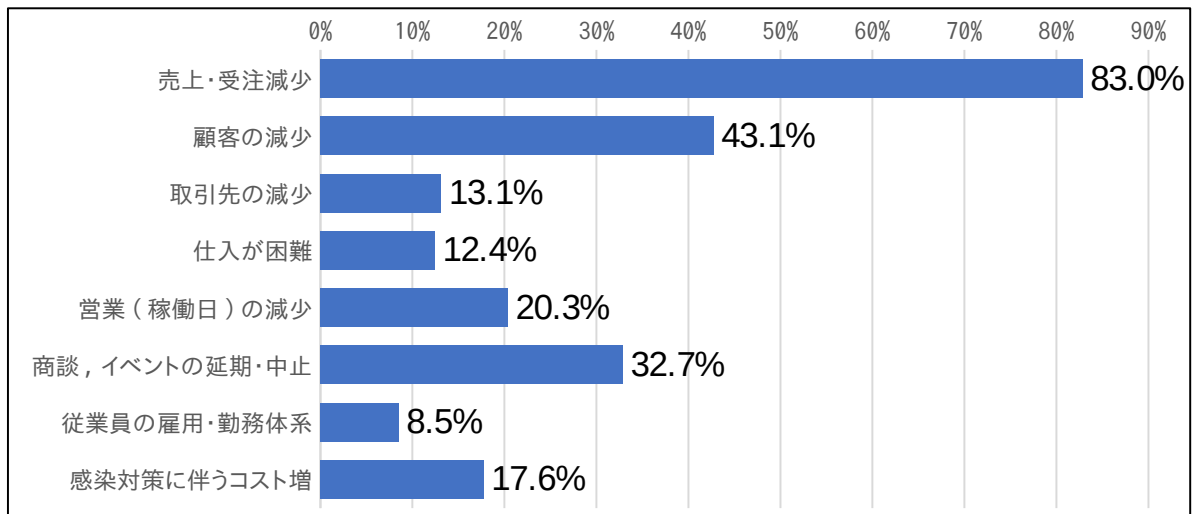


問2.企業活動にどんな影響がありますか。(複数選択可)

売上・受注の減少を挙げる事業所が全体の83.0%と非常に高い数値となっている。顧客の減少による営業時間の短縮や商談・イベントの中止による販路拡大の機会損失によって、売上が大幅に減少している。

また、取引先の事業縮小や休止により、商材・資材調達の見込みが立たないなど様々な影響を受けている。

図5:問2 全体回答



■「その他」自由記述

- ・店頭売上が減少し、ネット売上増加に伴う仕事内容の変化(小売業)
- ・人の動きが今まで以上になくなった(飲食業)
- ・施主より工事延期の申し出(建設業)
- ・コロナ、気候変動による市場価格の低迷(農業)
- ・入店客数の調整(サービス業)

問3.令和2年1月～12月の売上高は前年と比較して何%減少したか。

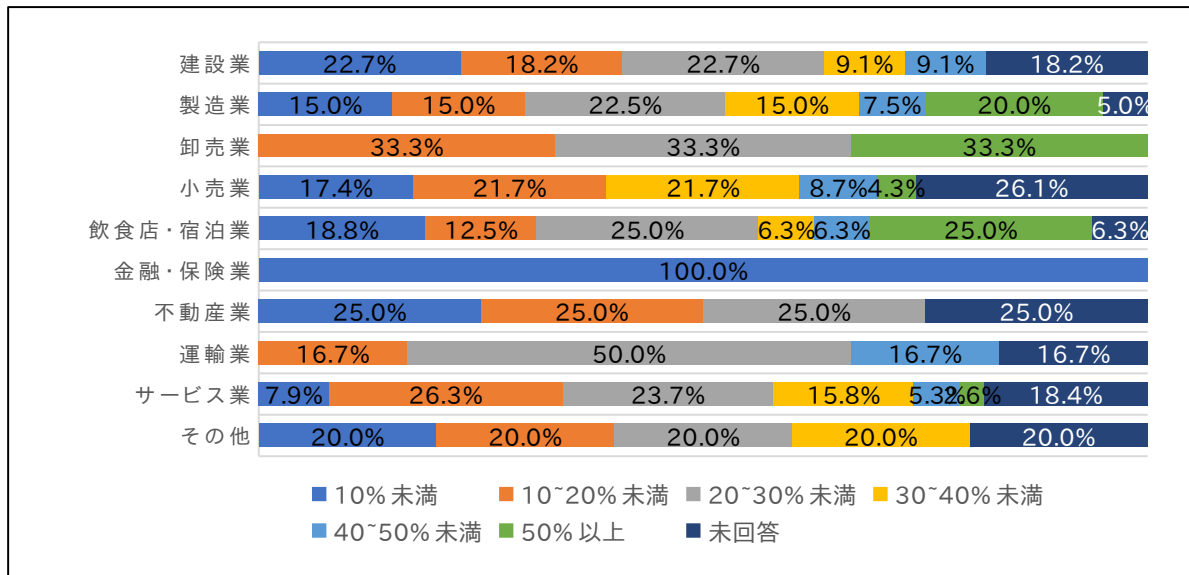
※回答153社

回答があった製造業 40 社のうち 42.5%、飲食店・宿泊業 16 社のうち 37.6%の事業所が前年の売上高と比較して、30%以上の減少となっている。1年間を通して、非常に大きな売上減少となっており、厳しい状況にある。

図6:問3 業種別比較(主要6業種)

	建設業 (N=22)	製造業 (N=40)	卸売業 (N=3)	小売業 (N=23)	飲食・宿泊業 (N=16)	サービス業 (N=38)
10%未満	22.7%	15.0%	0.0%	17.4%	18.8%	7.9%
10-20%未満	18.2%	15.0%	33.3%	21.7%	12.5%	26.3%
20-30%未満	22.7%	22.5%	33.3%	0.0%	25.0%	23.7%
30-40%未満	9.1%	15.0%	0.0%	21.7%	6.3%	15.8%
40-50%未満	9.1%	7.5%	0.0%	8.7%	6.3%	5.3%
50%以上	0.0%	20.0%	33.3%	4.3%	25.0%	2.6%

図7:問3 業種別比較(全業種)



※未回答には、「前年より売上が上がった」「創業のため比較できない」を含む。

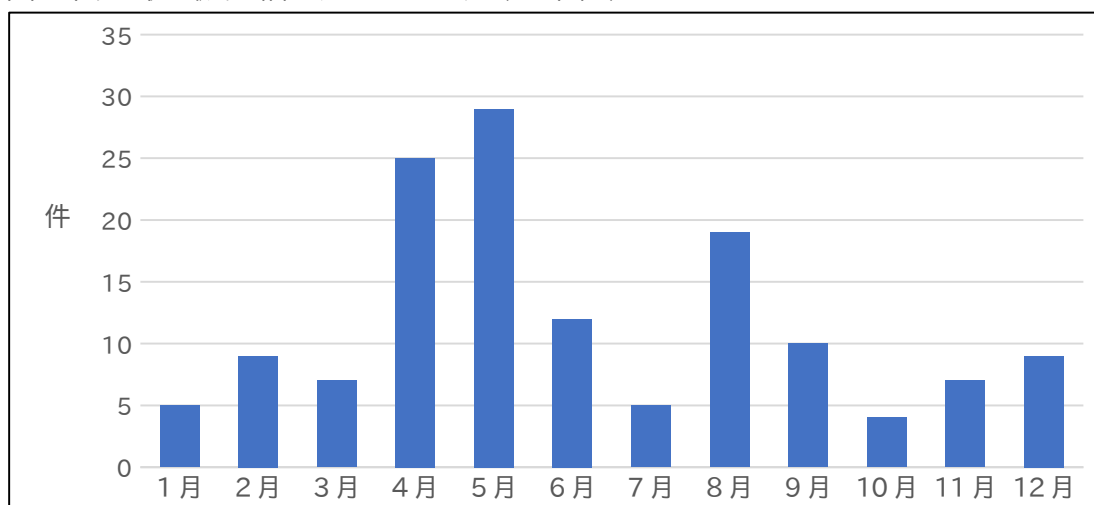
問4. 令和2年1月～12月の間で、前年同月比で最も減少したのは何月か。

またその減少幅は何%か。 ※回答157社

4月16日に緊急事態宣言が全国に拡大され、一旦感染者数も落ち着いたが、7月から8月にかけて感染の「第2波」がピークを迎えた。

新型コロナウイルスの感染者数が増えることで、人・モノの動きが制限され、企業活動に大きな影響を与えていることが分かる。

図8: 問4 最も減少幅が大きかった月(全業種)



(参考)厚生労働省「国内の発生状況」より抜粋

図9: 問4 最も減少した月の減少幅(全業種)

減少幅	10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50%以上	未回答
回答数	5	12	23	16	8	80	13

問5. これまでに活用した支援施策について

持続化給付金の活用が圧倒的に多く、併せて和気町の事業継続特別給付金を活用している。またコロナ関連緊急融資制度の活用も28.1%と高く、売上減少等に伴う資金繰りの悪化が窺える。

各種支援策については、対象者要件もあるため、売上減少したものの要件に該当しないため活用ができなかったという声も多い。

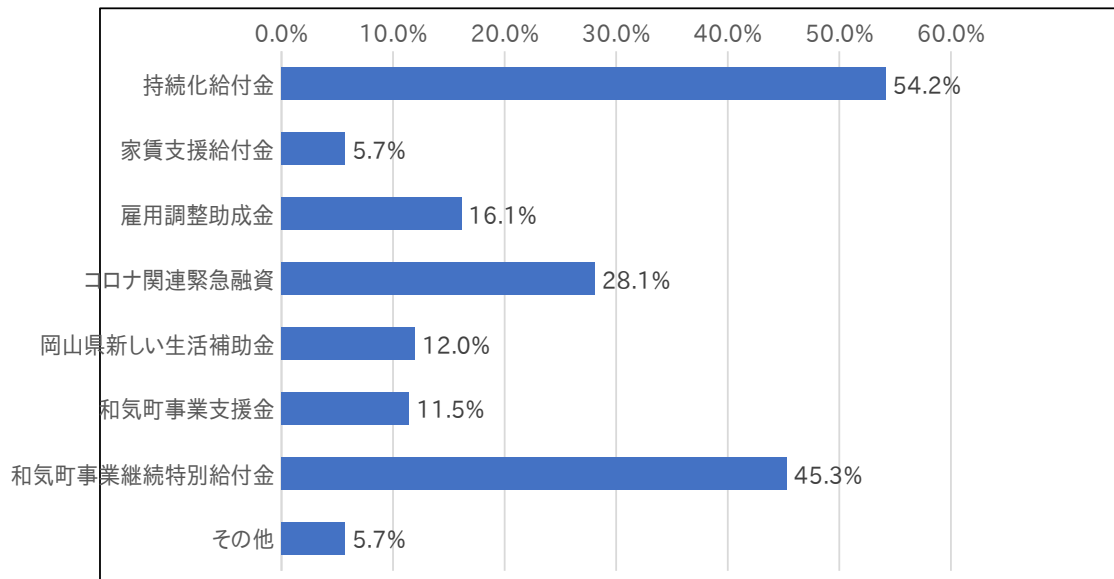


図 10:問5 活用した支援施策(全業種)

■「その他」活用支援策

- ・新型コロナ緊急包括支援交付金(介護事業)
- ・持続化補助金コロナ型(小売業)
- ・小規模企業共済の新型コロナウイルス感染症特別貸付(サービス業)
- ・各組合、協会等の感染対策における補助金
- ・生活福祉資金貸付制度

図 11:問5 支援施策の活用状況(従業員規模別)

	0-4人	5-20人	21-50人	51-100人	101人以上	不明
持続化給付金	79	21	2	1	0	1
家賃支援給付金	5	5	0	1	0	
雇用調整助成金	7	17	5	1	1	
コロナ関連緊急融資	25	21	4	1	1	2
岡山県新しい生活様式補助金	14	6	2	0	1	
和気町事業支援金	13	7	1	0	1	
和気町事業継続特別給付金	64	22	1	0	0	

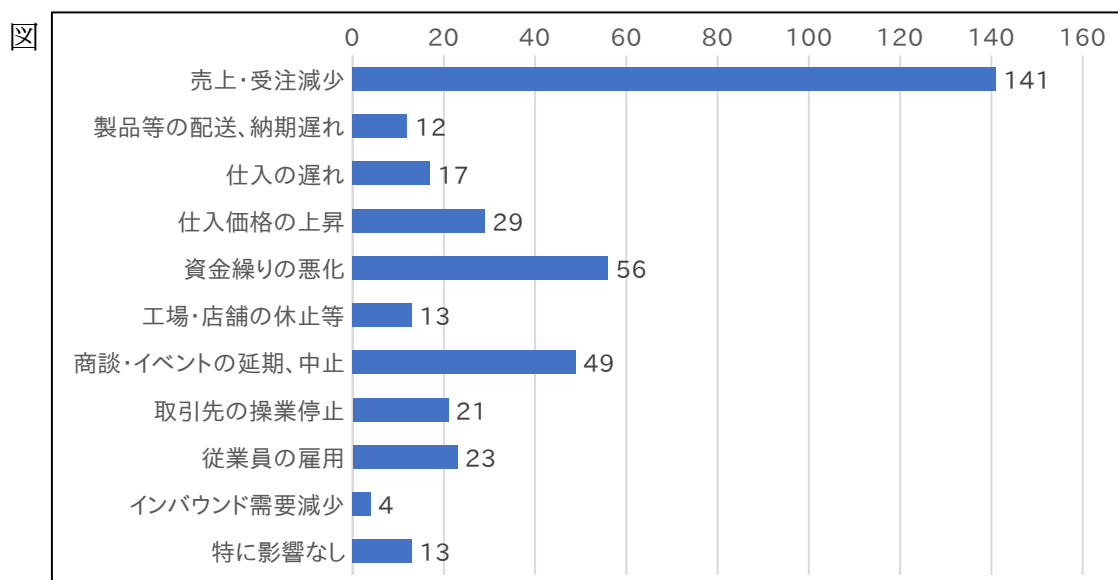
3.新型コロナウイルスの影響について(今後の企業活動について)

問6.今後の企業活動について、懸念される事項は。(複数選択可)

回答のあった事業所のうち、141事業所が「売上・受注の減少」を今後の企業活動における懸念材料として挙げている。

次いで「資金繰りの悪化」が多い状況となっている。

業種別で見ると、製造業ではBtoB業種での商談の延期・中止、飲食・宿泊業においては、各種イベントの中止による人の流れの減少を懸念事項にあげる事業所が多い。



12:問6 全体回答

図 13:問6 業種別比較(主要6業種)

	建設業 (N=30)	製造業 (N=48)	卸売業 (N=4)	小売業 (N=26)	飲食・宿泊業 (N=17)	サービス業 (N=49)
売上・受注減少	76.7%	70.8%	75.0%	57.7%	76.5%	69.4%
製品等の配送、納期遅れ	16.7%	6.3%	0.0%	0.0%	5.9%	10.2%
仕入の遅れ	13.3%	6.3%	25.0%	11.5%	5.9%	10.2%
仕入価格の上昇	16.7%	18.8%	50.0%	7.7%	11.8%	22.4%
資金繰りの悪化	30.0%	22.9%	0.0%	15.4%	23.5%	24.5%
工場・店舗の休止等	3.3%	4.2%	25.0%	3.8%	0.0%	6.1%
商談・イベントの延期、中止	10.0%	39.6%	0.0%	15.4%	41.2%	20.4%
取引先の操業停止	6.7%	14.6%	0.0%	3.8%	0.0%	8.2%
従業員の雇用	13.3%	10.4%	25.0%	7.7%	5.9%	12.2%
インバウンド需要減少	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
特に影響なし	6.7%	8.3%	0.0%	7.7%	5.9%	8.2%

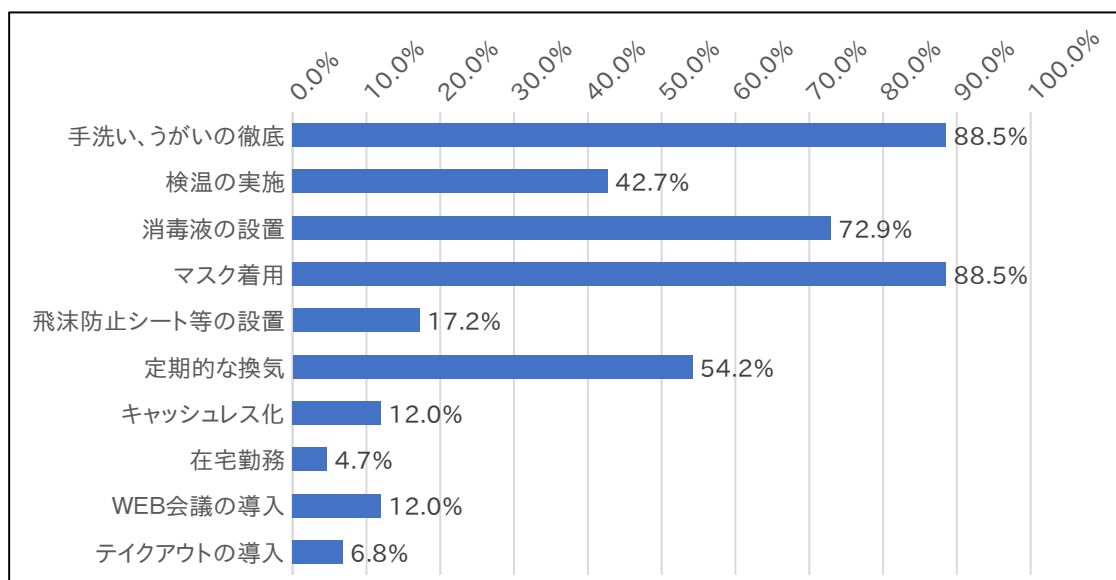
4.新型コロナウイルス感染対策について

問7.どのような感染対策に取り組んでいるか。(複数選択可)

事業所の約9割が「手洗い、うがいの徹底」や「マスク着用」と感染対策に取り組んでいる。

一方で、政府が感染拡大防止のため推進を行っている「在宅勤務、テレワーク」、「WEB会議の導入」については、低い数値となっている。

図



14:問7 感染対策の取組状況

■「その他」自由記述

- ・商品を個包装化(パン製造小売業)
- ・空気清浄機やオゾン発生装置の設置(サービス業)
- ・従業員の家族も含めた「新しい生活様式」への早期対応(製造業)
- ・インターネットによる仕入れ、販売(小売業)

5.和気町・商工会に対して望む対策、支援策について

問8. 今後どのような支援施策等を望んでいるか。(自由記述)

- ・補助金、給付金等のコロナ支援施策
 - ⇒補助金、給付金の継続支給を望む声が一番多い。
 - ⇒給付金等の支給要件の緩和
 - ⇒コロナ施策の申請手続き支援
 - ⇒経済活性化商品券(専用券)の継続配布
- ・税・公共料金の減免
- ・支援施策の情報提供
 - ⇒施策の対象要件が該当するのか分からないため、教えてほしい。
- ・マスク、消毒液などの物的支援
- ・その他
 - ⇒ネット環境にまつわる支援
 - ⇒国内、県内、地域内で経済が循環する仕組みづくり
 - ⇒仕入先の紹介、ビジネスマッチング

6. その他ご意見、ご要望について

問9. ご意見、ご要望について。(自由記述)

- ・岡山県が早くPCR検査場を作ってほしい。
- ・ネット販売を伸ばしたいが、どうしたら良いか。
- ・SDGsに関して企業としてどう対応したら良いのか知りたい。
- ・コロナ禍の中でも町内の経済活動を活性化させるための取組(イベントなど)を検討してほしい。
- ・行政として更なる支えをお願いしたい。
- ・国があてにならない。独自の対策を早急にしてほしい。
- ・従業員の生活を守るために頑張っているが、今後どうなるのか、とても心配である。
- ・アンケートをネットでも回答できるようにしてほしい。